様式第１号（８）（第２条関係）

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

　　総括表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　名 | 年　　月　　日生 | 男・女 |
| 住　所 |
| ①　障害名（部位を明記） |
| ② | 原因となった疾病・外傷名 |  | 交通、労災、その他の事故、戦傷、戦災、自然災害疾病、先天性、その他（　　　　　　　　　　　） |
| ③　疾病・外傷発生年月日　　　　　　年　　月　　日・場所 |
| ④　参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）障害固定又は障害確定（推定）　　　　　年　　月　　日 |
| ⑤　総合所見［軽度化による将来再認定　要　・　不要（再認定の時期　　　　年　　　　月後）］ |
| ⑥　その他参考となる合併症状 |
| 　上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。　　　　　　　年　　月　　日　　病院又は診療所の名称　　所　　　 在 　　　地　　診療担当科名　　　　　　　　科　　　　　医師氏名　　　　　　　　　　印　 |
| 　身体障害者福祉法第１５条第３項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕　　　障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に　　　　　・該当する　（　　級相当）　　　　　・該当しない |
| 注意　１　障害名には現在起こっている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢まひ、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁狭窄等原因となった疾患名を記入してください。２　障害区分や等級決定のため、埼玉県社会福祉審議会から改めて次ページ以降の部分についてお問い合わせする場合があります。 |

　　　呼吸器の機能障害の状況及び所見

|  |
| --- |
| （該当するものを○で囲むこと。）１　身体計測　　　身長　　　　　　　㎝　　　体重　　　　　　　㎏２　活動能力の程度　ア　激しい運動をした時だけ息切れがある。　イ　平坦な道を早足で歩く、又は緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。　ウ　息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、又は平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。　エ　平坦な道を約100m、又は数分歩くと息切れのために立ち止まる。　オ　息切れがひどく家から出られない、又は衣服の着替えをする時にも息切れがある。３　胸部エックス線写真所見（　　　　年　　月　　日）　ア　胸膜癒着　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　イ　気腫化　　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　ウ　線維化　　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　エ　不透明肺　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　オ　胸郭変形　　　　　（無・軽度・中等度・高度）　カ　心・縦隔の変形　　（無・軽度・中等度・高度） |
|  |  |  |
| ４　換気機能（　　　　年　　月　　日）　ア　予測肺活量：　　 ．　　　　L　（実測肺活量： ． L）　イ　１秒量：　　　 ． 　 L　（実測努力肺活量： ． L）イア　ウ　予測肺活量１秒率：　 ． ％ （＝　 イア×100）　　　（アについては、下記の予測式を使用して算出すること。）　肺活量予測式（L）　　男性 0.045×身長（cm）－0.023×年齢（歳）－2.258　　女性 0.032×身長（cm）－0.018×年齢（歳）－1.178　　（予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。） |
| ５　動脈血ガス（　　　　年　　月　　日）　ア　O2 分 圧：　 　　 　 ．　 Torr　イ　CO2分圧：　　　 ．　 Torr　ウ　pH　　 ：　 ．　エ　採血より分析までに時間を要した場合：　　　 時間　　 分　オ　耳朶血を用いた場合：〔　　　　　　　　　　　　　　〕６　その他の臨床所見男（27.63－0.112×年齢）×身長（㎝）女（21.78－0.101×年齢）×身長（㎝） |